

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 清 字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 鈴木正男
 幹事 釜谷健一
 会報委員長 松島孝彰

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

Act with Integrity Serve with Love Work for Peace

1995~96年度 RI会長 ハーバート・G・ブラウン

No. 44

きょうの例会

第668回 平成8年6月11日(火)

講演 “エイズの現況について”

名古屋掖済会病院 内科部長

山田 博豊氏

(紹介 柵木君)

先週の記録

第667回 平成8年6月4日(火) 晴

◇ “君が代”

◇ “それでこそロータリー”

◇ 今月のお誕生日祝福

浅井君(1)、小杉君(11)、魚津君(11)、
三輪君(22)

◇ 出席報告

会員 67名 出席 49名

出席率 72.06%

前々回 5月21日(修正出席率) 94.03%

◇ ビジター紹介 6名

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 戦後いろいろな記念日ができました。今日6月4日は“虫歯予防デー”だそうです。

池田 隆君 今日は元気です!!

石黒 正則君 6月8日環境の日よろしくお願ひします。

小林 明君 今年度麻雀総合優勝致しました。昨年に続き連続優勝です。

黒野 貞夫君 規定集作成的については鈴木会長さんはじめ皆様のご苦労に対し敬意を表します。

水野 民也君 6月8日から6月14日まで、あづま会日本画展を中日画廊に私が杉戸清君と一緒に出品しています。

尾関 武弘君 佐久間さんお世話になりました。

鈴木 正男君 あと僅かです。何卒御協力の程お願い申し上げます。

竹内 眞三君 古川さん、紹介します。

上野 保君 古川元久さんの本を買いました。

和田 正敏君 色々がんばりましょう。

足立 一成君、林 敏彦君、釜谷 健一君、

河村 政孝君、菊池 昭元君、久保田 皓君、

永井 正義君、田部井良和君、田中 昭二君、

谷口 優君、舎人 経昭君、渡辺 辰夫君、

吉田 玄君 あとわずかになりました。

浅井 誠寿君、小杉 啓彰君、三輪 康君、

魚津 常義君 誕生日祝い。

鷺谷 龍男君、菅原 宣彦君 夫人誕生日祝い。

佐久間良治君 今日ニコニコ協力ありがとうございました。

◇ 釜谷幹事報告

1. 本日例会終了後、臨時総会を開催致しますので全会員そのままお残り下さい。

2. 次回例会終了後、次年度理事役員会を開催致しますので次年度理事役員の方はお残り下さい。

3. ロータリーの友6月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 鈴木(正)会長挨拶

月も替り6月、本年度の例会もあと3回を残すのみとなりました。私が、会長の御挨拶をさせて頂くのも、最終例会はRIの国際大会に参加の為欠席しますので、これまたあと2回を残すのみとなりました。

間もなく任期を終えるに当たり、私は会長という大変な重責を体験させて頂いた立場から、ロータリーが、会長始め理事役員の任期を1年に限っているその組織運営制度の良さ、素晴らしさを今更乍らに感じ入っております。

ここで、ロータリーの理事役員の任期が1年とされていることに触れてみたいと思います。

一般に、株式会社を始め組織団体の定款や会則には、必ず役員の任期の定めが有るのが普通であります。RIや各RCの定款・細則には、理事役員の任期を定めた条文は一つも

有りません。然しそれらは全て、任期は1年であることを大前提として作成されており、他に類を見ないロータリーの特徴と思われます。では、何故任期が明文化されていないのでしょうか。

1905年3月23日、世界で最初のシカゴ・RCが創立されましたが、ポール・ハリスが会長に就任したのは、1907年になってからのことです。ポール・ハリスは、会務に関しては、互譲の精神を以て支配的原理としたといわれます。彼は、ロータリーの創立者であるに拘らず、1905年には敢えて会長につかず一般会員として止まり、初代会長には彼の親友シルヴェスター・シールが就任し、幹事・会計も仲間が務めました。そして彼らは、特殊な事情のない限り役職を1年で交替するという慣例をつくり、これが今日全世界のロータリーの一般慣習となったといわれています。このように、敢えて定款等に理事・役員任期を明文化せずとも、それが当然の事として慣習が守られ、世界中のロータリーが整然と運営されていることは、ポール・ハリスが自ら示した互譲精神がその根底に有るからであります。改めて、ロータリー精神の奥の深さを学んだ気持ちがいましております。

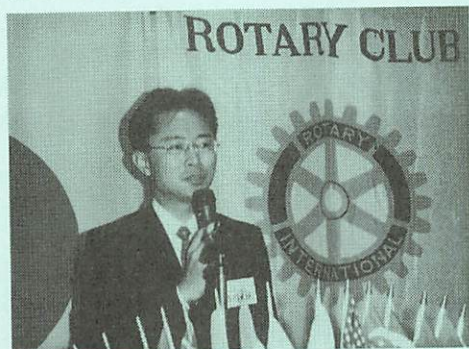
◇講演

“メルトダウンをはじめた日本の権威”

新世代研究会 会長

古川 元久氏

(紹介 竹内君)



メルトダウンというのは、原子炉で内部溶解をはじめると、行きつくとこまでいかないと止まらず、ついには原子炉が崩壊し、周囲に放射能をまき散らしてしまう、一番恐ろしい事故につながるものです。今、正に日本に色々あった権威もメルトダウンの過程に入ってしまったのではないかと思います。失墜した権威といえば、父親、教師、業害エイズの医師ら、中でも私が気になったのは住専問題に揺れる銀行の頭取達です。近頃社長職等もサラリーマン化してますので、運の悪い時に上役になっただけ、という意識があるせいか、大蔵省の言う通りにしただけ、という責任逃

れの態度。例えその通りだとしても、立場ある人間は経済人としての責任感を持たないといけません。この頃日本は皆に無責任状態が蔓延してるように思います。

以前私がアメリカにいた時、就任したでのクリントン大統領が保健制度の改正に着手しましたが、失敗してしまいました。これは国民が政府を信頼していなかった為で、信頼を得られないと政策は必ず失敗します。おまけに失敗した事により、政策を支持していた人達の信頼を失うという悪循環を起こします。これと同じ事が日本にもいえますので、まずは失った権威を回復しないとはいけません。

これからはリーダーに求められるものが大きく変わってくると思います。今までは上の地位にある者の所に情報が集まり、その情報量で下の者を管理してきた所がありますが、今はインターネット、マルチメディア等で情報が広がり、誰にでも入手できる様になりました。その為、情報量の多さで人を管理できなくなりました。これからは、地位のある者には高い徳が要求され、徳のない者は淘汰されていく時代になってきました。そうしていかないと、今失われつつある権威は回復しないと、今失われつつある権威は回復しないうと思います。ここにいらない皆様は今までたくさんの経験、実績を上げてみえた方ばかりですので、今更私が何も申しあげる事はありませんが、今一度どうしたら徳を高める事が出来るかとお暇な時にお考え頂くと、ますます仕事、生活が充実したものになると思います。

◇5月度(5/28)理事会議題

1. 新入会員候補者の件
2. 岡島常男君退会の件
3. 規定集の件
4. 1995~96年度決算の件

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋中RC 6/24(月)第2回親睦例会の為、名古屋観光ホテルにて18時より
- 名古屋南RC 6/26(水)ユッタリ例会の為、名古屋観光ホテルにて
- 名古屋名北RC 6/26(水)I.D.M.の為、6/28(金)プチヴェールにて17時半より
- 名古屋名駅RC 6/26(水)夜間例会の為、名鉄ニューグランドホテルにて17時半より
- 名古屋西RC 6/27(木)I.D.M.の為、ホテルキャスルプラザにて17時より

◇次回例会(6月18日)

夜間例会(松楓閣にて18時より)